

経費支弁書

日本国法務大臣殿
名古屋YMCA日本語学院校長殿

学生姓名： _____ 学生国籍： _____

生年月日： 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男 ・ 女)

私は、このたび上記の者が日本に入国した場合、在留中の経費支弁者になりましたので、下記のとおり経費支弁の引き受け経緯を説明するとともに、経費支弁について証明します。

記

1. 経費支弁の引受経緯（申請者の経費支弁を引き受けた経緯および申請者との関係について具体的に記載して下さい。）スペースが足りない時は、別紙を添付して詳しくご説明下さい。

2. 私は上記の者の日本国滞在について、下記のとおり経費支弁することを証明します。また、上記の者が在留期間更新許可申請の際には、送金証明書又は本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

(1) 入学金 : 80,000 円

(2) 学 費 : 1年コース 686,000 円
 1年6か月コース 1,026,000 円
 2年コース 1,366,000 円

(2) 生活費 : 月額 _____ 円

(3) 支弁方法 (送金・振込等支弁方法を具体的に書いてください。)

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

経費支弁者 _____ 学生との関係 _____

住 所 郵便番号 (_____)

電 話 _____

署 名 _____

填寫經費支付書的注意事項

1、經費支付的理由說明

*如果經費支付者是申請人的父母親，請說明支付者的經濟狀況和支付能力。

*如果經費支付者是申請人的三級親以內的親屬，請說明由該支付者而不是申請人的父母親等人支付費用的理由。

*如果經費支付者與申請人的關係是三級親以外的親屬，或者不是申請人的親屬，請提供詳細信息，例如支付者何時何地如何認識申請人、目前與申請人的關係以及同意支持費用的理由。

2. 學費/生活費/支付方式

1) 學費（日元）

*請勾選您想要選擇的課程。

2) 生活費

*請填寫經費支付者每月承擔的生活費用金額。

*決定支付的額度要確保學生衣食無憂。

*請注意，不得將學生的打工兼職收入作為生活費。

3) 支付方式（填寫範例）

*首期學費將在入學前匯入學校指定帳戶。

之後的學費及學生入境日本後的生活費，會定期匯入學生的銀行帳戶。

3. 請填寫經費支付者的姓名、地址、電話、與學生的關係等，要與申請表上填寫的內容一致。

簽名欄必須由經費支付者本人簽名。

※用日文以外的語言填寫的經費支付書，需附上日文翻譯。

需要翻譯的項目是 1. 經費支付的理由說明， 2 (3) 支付方式。